



祝日は国旗を掲揚しましょう。

皇紀2681年
一 弥 生 一
3 月号

発行所
生長の家 両丹 道場
舞鶴市字北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白梅会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

◎「自然と共に伸びる運動」の実現のため、神においてすべて一体の宗教心を多くの人に広げよう！
◎第一線で「ネットフォーラム」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！

「悪を認めない」という意味（抜粋）

生長の家総裁 谷口 雅宣

例えば、『真理の吟唱』の「想念感情を浄める祈り」には、次のような件がある……

今より後、決して私は悪しき事を思わず、悪しき事を言わず、人を呪うことなく、怒ることなく、現象の悪に心を捉えられることなく、ただ善のみ、光のみ、美のみ、幸福のみ、豊かさのみ、調和のみ、平和のみの実相を心に見、コトバに発し、常に想念感情を浄めて、この世界の実相たる天国浄土を地上に実現せんことを期するのである。（同書、五九～六〇頁）

私たちは、この教えに従って「日時計主義」を生ずることになっている。だから『日時計日記』では、悪い出来事は書かないのが原則である。悪いことを書かない、印象しない、記録しない、思い出さない、という方法によって、多くの人々は「悪はない」という実感がもてる。加えて、「よいこと」のみを書き、印象し、記録し、思い出すことによって、多くの人は「善が満ちている」という実感を抱き、その実感を通して、現象の背後にある善一元の世界の存在を確信することができるようになる。そういう宗教的実感や悟りへ到達するための優れた方法が「悪を認めない」という生き方である。
（『新しい文明』を築こう』中巻 実践篇「運動の具体的展開」一一九～一二二頁）

日時計主義の生活実践を

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

生長の家は一九三〇年に創始されました。三月一日はその立教の記念日となります。誠におめでとうございます。同日付けの『生長の家』誌創刊号には、早速、生長の家の生き方が紹介されています。「順次に説明して行くことにする」として、

まずは『生長の家』では朗らかに笑って生きる、と日時計主義の生き方、『生長の家』は礼拝主義で生きるの三点がとりあげられました。そうです、表題の日時計主義は立教の時、いの一に一番に伝えられた重要な生長の家の生き方であるということです。そして生き方だから単なる理論思想ではなく行動を要する生活実践であるということも確認したい点です。総裁谷口雅宣先生は次のようにご指導くださっています。

日時計主義とは、人生の「明るい面」に心の焦点を合わせた生き方である。日常生活の中で楽しいこと、明るいこと、感謝すべきこと、教えられること等に注目し、それを心に強く印象づけることで、「唯心所現」の原理を発動し、実際の生活を明るく、豊かで、感謝に満ちたものに変革する生

き方であり、生活実践である。だから、単に理論や主義主張を訴えるだけでなく、日常の生活で具体的な行動を起こすことが重要である。まず、人生の光明面を発見し、それを具体的に記録することから始めよう。（『太陽はいつも輝いている 私の日時計主義実験録』二五～二六頁）

その記録用の『日時計日記』は、だから日時計主義を生きるための大切な道具となるものであり、特に生長の家を信仰する会員の方には、全員に使用していただきたいものなのです。しかし私たちの教区でその冊数は、会員数に対して六割（昨年未現在）とのことでした。まだ利用されていない方には強くおすすめていただきたいと思えます。「日記は別のものに毎日書いているよ」という方には、『日時計日記』は一般の日記とは記録内容が異なり、生長の家の教えの実践用に特別に工夫されたものであることを強調してください。また、「私の一日には『日時計日記』に書くようなありがたい事がありませぬ」という方には、次のご文章を参考に説明してください。

まず、既に与えられている無数の恵みについて感謝せよ。空気、日光、住宅、衣類、家族、

食物、健康等既になくなくてはならぬ多くのものを与えられているのであって其の事実に対して感謝せよ。病人は、「まだ健康を与えられていないのに感謝なんて出来ません」と言うかも知れないけれども、全身病の人は殆どないのである。肺臓が悪くても多分眼は見えるし、耳はきこえるであろう。手足も動くであろう。たとい盲人であつても食物はたべられるであろう。感謝すべき点をさがしたら無数にあるのである。（『新版生活の智慧』二〇三頁）

「感謝すべき点を探し出して感謝せよ」ともありました。小さなことでよいと知るべきです。その日の自分の体験の大小に関わらず書くことです。私たちは「小さな体験もゆるがせにはならない」とも教えられています。

一滴の水も、大なる瀑布の水も同じ法則によって支配されているのである。どんな小さな体験でも、大きな体験と同じ「心の法則」によって行われるのである。（『新版栄える生活』三四頁）

大きなことを喜べるのは当然ですが、同じ神が支配する小さなことにも喜び感謝できるようになったら、またそれを見つけて出すことが訓練され得意になったら、これはきつと毎日が楽しくて仕方がないことでしょう。社会に不安が満ちているように見えたら、今こそ私たちはな力を入れて生長の家の日時計主義の生活を実践し、その素晴らしさを伝えていこうではありませんか。

『麒麟がくる』世界

青年会事務局長 渡利 あすか

先日、最終回を迎えた大河ドラマ「麒麟がくる」。その視聴後、「飽食と飢餓」に関するNHKのドキュメンタリー番組も視聴。一部の富める人々が貧しい人たちから食料を奪っている現在の世界の食糧事情は、二〇三〇年までに我々の食糧生産に関するシステムそのものを持続可能な方法に変えなければ人類の多くが飢餓に苦しむことになり、それは日本も例外ではないであろう。しかし科学者や政治家、若い世代の方々はすでに様々な取り組みを始めており、科学的アプローチによる食料生産の方法、肉食を減らすための工夫、また物流などの既存のシステムの見直しなど、未来に希望を持てる世界の動きなども紹介していました。

両丹生命学園園長就任のご挨拶

両丹生命学園園長 悦子



合掌ありがとうございます。

この度は大切な「生命学園」の園長というお役を頂くことになりました。

歴代のすばらしい四方廣海講師、大槻紀子講師に深く感謝を申し上げます。神様の御心に従い、伊藤夏樹教化部長、諸先輩に教えて頂きながら、一人でも多くのかわいい神の子さん達に楽しく集まって頂けるよう真心を尽くしていきたいと思えます。皆様、「生命学園」を今まで同様に、これからもよろしくお願い申し上げます。

再拝

合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には、「世界平和」と「自然と共に伸びる運動」の実現のためにご尽力頂いていますことを心より感謝申し上げます。

去る二月二十四日（日）十時～十時五〇分、ネットフォーラムの研修会を開催致しました。参加者は三十三名でした。その中で保理江嘉子講師が普及誌の読みどころを紹介くださいました。素晴らしい発表ありがとうございます。

同研修内容は、伊藤夏樹教化部長ご指導のもと、本年度の運動方針について（『よろこび』二月号）、新しい文明を築こう、中巻一三五頁、上巻二二六頁を勉強させて頂きました。

令和三年三月度地方講師・光明実践委員ネットワークフォーラムの研修会ご案内

日 時：令和三年三月二十九日（月）十時～十時五〇分

テキスト…会員必携書『新しい文明を築こう』上巻（基礎編）中巻（実践編）『生長の家』機関誌当月号。普及誌三誌No.133

※活動報告書は毎月十日までに提出してください。すようお願いいたします。

本部褒賞決まる

春の本部褒賞がこのほど決まりました。京都第二教区からは西日本光輪賞には東舞鶴の西村賀代子氏に、また布教功労賞には東舞鶴の森下智枝子氏並びに福知山の新井弥生氏に決定いたしました。信徒一同、心よりお祝い申し上げます。

来る3月1日、生長の家総本山にて執り行われる「生長の家春季記念日・生長の家総裁法燈継承記念式典」において表彰式が行われ、その模様は、インターネットにて一般公開されます。

日時：3月1日午前10時～午前12時
生長の家公式ウェブサイトへアクセスして下さい。

URL：http://www.jp.seicho-no-ie.org/Ip/20210301.jp/

～ 地方講師会だより ～

1月31日（日）10時から、伊藤夏樹教化部長がFacebookの京都第二教区組織会員のグループ上で25分間の講話を配信されました。教化部長の講話の配信は初めての試みです。視聴中に、皆様から続々と感想や、感謝のコメントが投稿されました。ご家族で視聴された方もいらっしゃいました。

- ・「神・自然・人間」は、一体である ・「遇一行 修一行」
 - ・「あたりまえありがたい」等についてお話を頂きました。
- （リプレイで何時でも何度でも視聴出来ます。）



3月度の対策部だより

普及誌購読者拡大

いつも普及誌をご愛読頂きましてありがとうございます。3月号の新規購読者は9名でした。ご尽力頂きありがとうございます。今後も引き続きよろしくお願い致します。生長の家の普及誌の使命は毎月発行して言葉によって此の世を清め、人生を住み良くし、幸福にすることですが、谷口雅春先生は生長の家の主要な事業の1つであると示されております。普及誌によって会員の皆さんが、多くの友人、知人を生長の家の活動に誘える支えになっています。

No,131 『いのちの環』「俳壇」綾部総連：大槻紀子様

No,131 『白鳩』「わが家の赤ちゃん」東舞鶴総連：河合智恵野様の投稿が掲載されています。

聖使命会員拡大

親愛なる聖使命会員の皆様ありがとうございます。コロナ禍にあっても1支部2名会員拡大の目標の下、教区全体で47名の新規入会がありました。ご尽力頂いたお一人お一人に心から御礼申し上げます。でも、令和3年度は始まったばかりです。日頃から聖使命会員拡大にお心を寄せて頂き、多くの菩薩様が誕生しますように、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

支部・誌友会・会員

3月になると少しずつ暖かくなって来ます。「妖雲幕々と空を覆うことがあっても、その上には常に蒼空があるのと同じように、如何に暗澹たる状態が現象的にあらわれてこようとも、その状態に対して心を動ずることはないのである。」と、教えて頂いております。コロナも収束し、又、誌友会が再開出来ることを祈ります。

＜うちんとこの誌友会＞

ありがとうございます。西舞鶴総連宮津口支部です。昨年よりオンラインで輪読を始めました。普及誌を送っていましたが次男のお嫁さんが「良いことが書いてありますね」と、言ってくれていたのので、「オンラインだと夫々が自宅に居ながら出来ますよ」と声を掛けたところ、快く参加してくれました。お陰でライン上にグループを作り、毎月第3火曜日の午後8時からと決めて普及誌の輪読会を、ラインを通して3人でしております。1人で読むだけでなく、3人で読み合いをすると、また、新しい気づきもあり有意義な時間となりました。これからも続けて行きたいと思っております。

令和3年3月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	曜
		(相) 正副・地区連長会議 (10時) 【ネットフォーラム】		五者会議【ネットフォーラム】	〔道場休館日〕 神・自然・人間大調和祭 (本部)	祈り合いの神想観【ネットフォーラム】 (10時)						〔道場休館日〕			聖使命感謝奉納祭 春季記念日・法燈継承記念式典	本部・教化部行事
																教化部長
大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	休み	休み	休み	休み	休み	休み	休み	早期行事担当

☆五者会議、講師会一日研修会、各組織会議はネットフォーラムを予定しております。また、祈り合いの神想観、春季慰霊祭・先祖供養祭、住吉神社月次祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので、ご利用ください。	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
			(講) 地方講師・光栄一日研修会 (10時) 及び同役員会・(10時50分) 【ネットフォーラム】	青少年ネットフォーラム			〔道場休館日〕			(白) 総連会長・対策部長担当会議 (10時30分) 【ネットフォーラム】 普及誌仕分け日	春季慰霊祭・先祖供養祭 (10時) 【ライブ配信】	〔道場休館日〕 春分の日 (道場休館日)	〔道場休館日〕	住吉神社月次祭 (10時) 【ライブ配信】	(白) 正副会長会議 (10時) 【ネットフォーラム】
	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	休み	休み	休み	河合・船木

☆奉納金ありがとうございます。
 千賀 慶次 (故人) 50,000 円
 ☆お賽銭ありがとうございます
 25,318 円
 ☆生物多様性募金ありがとうございます。
 1,550 円
 ☆初穂料ありがとうございます。
 73,500 円

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について
 令和3年1月14日～3月7日の期間、京都府では緊急事態宣言が出され、いまだ日本国内及び全世界では感染者が後を絶たない状況が続く中、道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。